

「鳥のことをもっとよく知ろう！」編

タイトル：鳥のことをもっとよく知ろう！

推奨学年：中学年以上

対象教科：総合学習、理科など

教材観・児童観・指導観

本事業は千葉市内の小学校から毎年度約 50 校・3000 名が参加している。過去のアンケートから、市内小学校に在籍する児童は「動物の形態に興味」があり、「普段とは異なる授業により、特別感を味わい、刺激を受けている」ことが分かっている。飼育員や獣医師によるオンライン授業を実施したことで、児童が校外学習や各家庭で動物園を訪れた際に新たな視点を獲得し、より充実した時間が過ごせたなどの感想が得られたことから、本事業は動物への興味関心を高める効果があると考えられる。

授業目的

身近な動物の形態と生態の結びつきを知り、新たな視点で疑問を持ち観察する。

〔 校外学習の事前学習として→動物を観察する際の視点を増やす。
校外学習の事後学習として→体験と結びつく知識を共有し定着を促す。 〕

授業概要

鳥の形態や食性についてくわしく学べます。ワークシートを用いながら鳥を多面的に見るプログラムです。

指導計画

	授業の流れ	児童の反応
導入 (5分)	・講師自己紹介 ・「鳥」ってどんな動物だっけ？	「くちばしがある！」 「飛べるのが鳥かなあ」
展開1 食性と くちば し (15分)	・ワークシートの説明 ・鳥の食性を紹介（植物・動物） →「この食べ物を食べる鳥のくちばしには、このような特徴があるんだよ」 →「この食べ物を食べる鳥と、同じ形のくちばしをもった鳥はどれかな？」	・「この鳥とこの鳥は、くちばしが似ているから食べ物も似ているかも」 「こんな形だったっけ？」 ・ワークシートに取り組みながら口々に意見を言い合い、見せ合う。
展開2	・鳥について一般的に知られている生態の「理	・「鳥のからだってこうな

鳥のな んで？ (15分)	由」について解説する →鳥ってどうやって飛んでいる？飛べない鳥 がいるんだけど知ってる？	ってるから飛べるのか！」 ・「ペンギンって飛べない けどなんで鳥なの？」
終了・質 疑応答 (10分)	・ZOOMの挙手機能を使って講師と各学級で 会話し、授業中に新たに出た疑問の解消 ・動物園や仕事内容についての質問にも対応	「〇〇のくちばしはどんな 形ですか？」

評価の観点

- ① 嘴の形態と食べ物に直接的なつながりがあることを知る（知識技能）
- ② ワークシートに取り組み、自らの考えを表現する（学びに向かう力・人間性）
- ③ くちばしの形状から、鳥の食性を予想する（思考・判断・表現）

板書計画

